

# 子どもが音楽に親しむための環境構成と保育者の援助

柴田学園大学短期大学部 保育科

金山 茉莉花

TEL 0172-32-6151

FAX 0172-32-6153

e-mail m-kanayama@shibata.ac.jp

キーワード

音楽表現 環境構成 保育者の援助 環境による保育

子どもが音楽に親しむことは、心身の豊かな成長において重要であることから、幼稚園・保育所・認定こども園において、子どもが音楽に親しむための環境構成と保育者の援助のあり方について研究している。

保育者を対象としたアンケート調査(n=196)では、子どもが個人用楽器として持っている楽器や、子どもが遊びのなかで自由に使用できる楽器が「有り」と回答した保育者は非常に少ない結果であった(図1・図2)。その理由として、「楽器は玩具ではない」と捉える意見があることや、発表会前のみ楽器を用意している例があることが挙げられる。また、保育者が伴奏のために使用する楽器・機材は、ピアノなどの鍵盤楽器やCDプレーヤーが中心であった(図3)。鍵盤楽器やCDプレーヤーは、保育現場における汎用性が高いといえよう。

環境構成としては、その場の雰囲気や子どもの要望に応じて曲を流したり、子どもの発達過程に応じた視覚教材を掲示したりしていることが明らかになった。保育者の援助としては、保育者自身が音楽を楽しむほか、生活の場面で歌を歌う機会を確保していることが示された。

